

【議 題 2】

令和5年度事業計画および支部保険者機能強化予算の
策定に向けた意見聴取



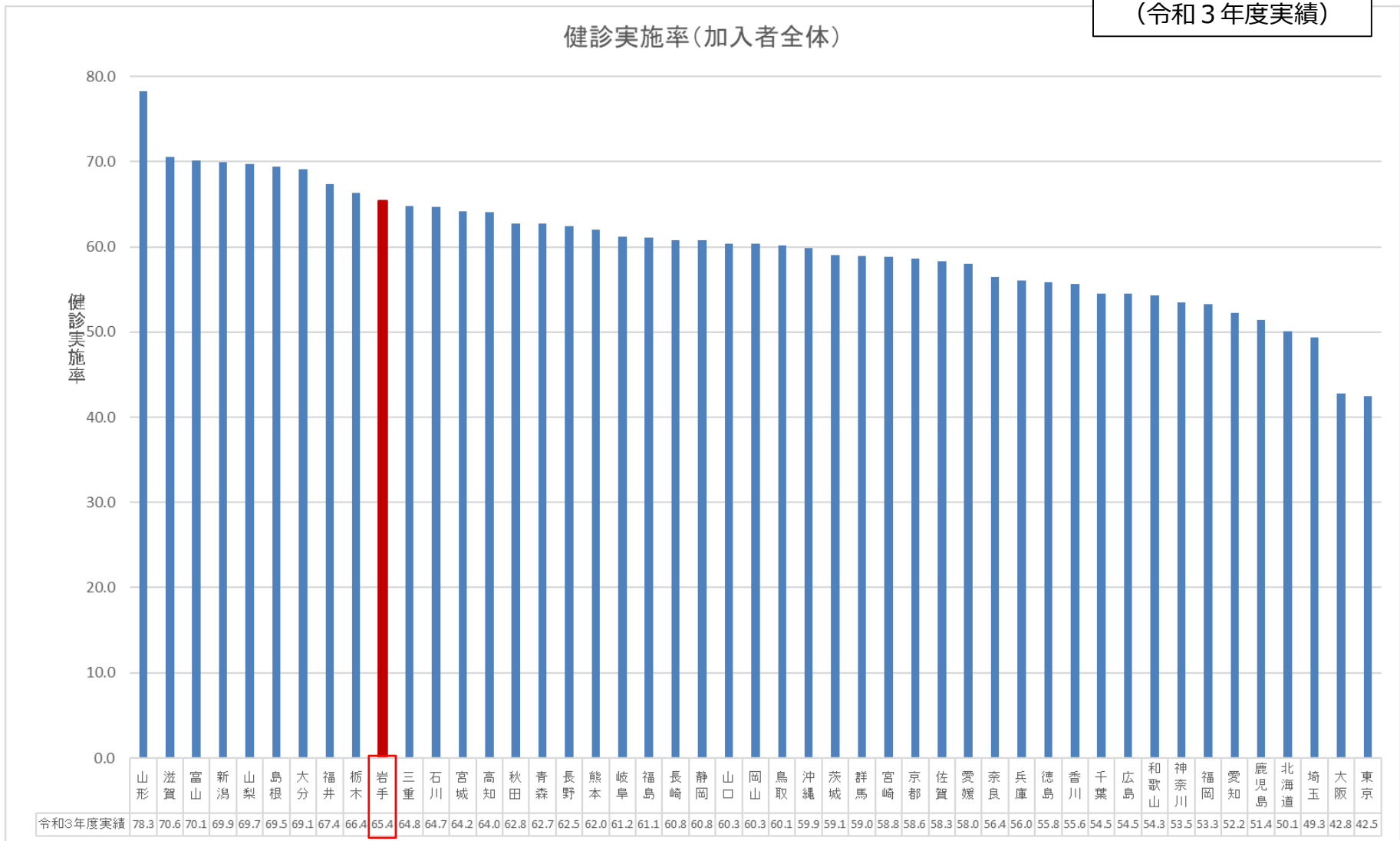
■ 目次

- | | |
|---|---------|
| 1. 保健事業の現状について | … 2ページ |
| 2. 岩手支部の課題 | … 9ページ |
| 3. 課題に関連する事業について【令和4年度実施】 | … 10ページ |
| 4. 課題解決に向けた事業について
【令和5年度における実施予定の事業】 | … 12ページ |

1. 保健事業の現状について (1/7)

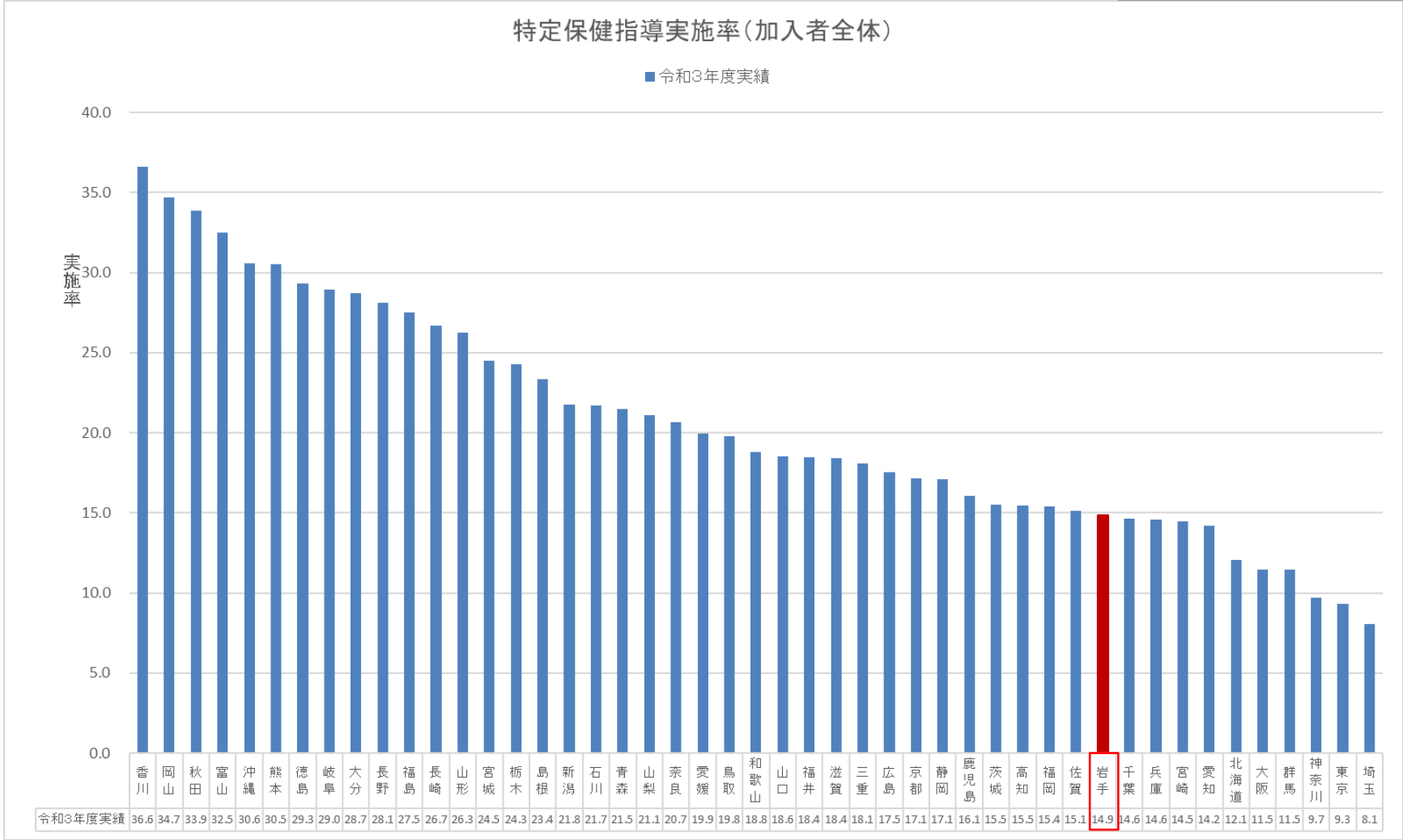
全国順位：10位
(令和3年度実績)

健診実施率(加入者全体)



1. 保健事業の現状について (2/7)

全国順位：37位
(令和3年度実績)



II. 戦略的保険者機能関係

(1) 第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の着実な実施

i) 特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上 【生活習慣病予防健診】

KPI

生活習慣病予防健診受診率を59.6%以上とする (40歳以上受診見込者数：106,744人 / 受診対象者数：179,101人)

	令和3年度 目標	令和3年度 実績
受診率	59.6%以上	59.2%

〔計算式〕
40歳以上の受診者数
(被保険者)

40歳以上の被保険者数

事業計画 (重点事項抜粋)

- 生活習慣病予防健診の未契約健診機関に対し、契約締結に向けた交渉を行う (1機関が新規加入)
- 既存の健診実施機関に健診受入件数の増加を促すため、推進経費を活用した勧奨を行う (16機関が参加)
- 事業者健診を行っている事業所に、生活習慣病予防健診への切替を促すため個別に勧奨を行う (1,642事業所に対して勧奨実施。307事業所、2,691名が生活習慣病予防健診を受診)
- 健診機関過疎地域での受診機会を増やすため、検診車の巡回健診を企画し、事業主向けに広報を行う (10地域97会場実施。5,616人が生活習慣病予防健診を受診)

令和3年度の実施状況

➤ 生活習慣病予防健診の受診状況

全国順位 22位

令和3年度	対象者数	受診者数	受診率	受診率の差 (岩手-全国)
岩手支部	178,783	105,829	59.2%	+5.6%
全国	16,518,519	8,858,736	53.6%	

➤ 参考) 令和2年度の状況 (全国 24位)

令和2年度	対象者数	受診者数	受診率
岩手支部	178,815	99,853	55.8%
全国	16,210,164	8,273,160	51.0%

II. 戦略的保険者機能関係

(1) 第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の着実な実施

i) 特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上（つづき） **【事業者健診データ取得】**

KPI	
事業者健診データ取得率を18.4%以上とする	(40歳以上取得見込者数：32,954人 / 受診対象者数：179,101人)

	令和3年度 目標	令和3年度 実績	(計算式) 40歳以上のデータ取得数 (被保険者) ----- 40歳以上の被保険者数
データ取得率	18.4%以上	15.6%	

事業計画（重点事項抜粋）
<ul style="list-style-type: none"> 事業者健診データの未提出事業所にデータ提供の同意書を提出していただくため、個別に勧奨を行う（3,333事業所に対して勧奨。同意書404件、結果データ1,788件取得）

令和3年度の実施状況

▶ 事業者健診結果データの取得状況

全国順位	2位			
令和3年度	対象者数	取得者数	取得率	取得率の差 (岩手-全国)
岩手支部	178,783	27,911	15.6%	+7.1%
全国	16,518,519	1,399,317	8.5%	

▶ 参考) 令和2年度の状況 (全国 9位)

令和2年度	対象者数	取得者数	取得率
岩手支部	178,815	20,693	11.6%
全国	16,210,164	1,289,699	8.0%

II. 戦略的保険者機能関係

(1) 第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の着実な実施

i) 特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上（つづき） 【特定健診】

KPI

被扶養者の特定健診受診率を27.8%以上とする (40歳以上受診見込者数：14,010人 / 受診対象者数：50,399人)

	令和3年度 目標	令和3年度 実績	(計算式) 40歳以上の受診者数 (被扶養者)
受診率	27.8%以上	23.9%	40歳以上の被扶養者数

事業計画（重点事項抜粋）

- 被扶養者に健診受診を促すため、健診機関の選択条件を提示したうえで、条件にする健診機関をGISにより選定し、被扶養者向けに情報提供、受診勧奨を行う（被扶養者5,644人に対して勧奨）
- 受診機会を増やすため、協会主催の集合健診を企画し、被扶養者向けに広報を行う（12地域16会場で実施。31,413名に勧奨し573名受診）
- 受診機会を増やすため、全市町村でがん検診との同時受診が可能な体制を継続し、被扶養者向けに広報を行う（被扶養者45,335人対して広報実施）
- 健診内容を充実させるため、検査項目を増やしたセットメニューを設定し、被扶養者向けに広報を行う（13機関で実施）

令和3年度の実施状況

▶ 被扶養者の特定健診の受診状況

全国順位	40位			
令和3年度	対象者数	受診者数	受診率	受診率の差 (岩手-全国)
岩手支部	40,464	9,676	23.9%	▲2.3%
全国	4,201,228	1,102,473	26.2%	

▶ 参考) 令和2年度の状況（全国 31位）

令和2年度	対象者数	受診者数	受診率
岩手支部	41,758	9,158	21.9%
全国	4,281,665	912,342	21.3%

II. 戦略的保険者機能関係

(1) 第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の着実な実施

ii) 特定保健指導の実施率の向上

KPI

被保険者の特定保健指導の実施率を24.1%以上とする (実施見込者数：6,805人 / 対象者数：28,233人)

	令和3年度 目標	令和3年度 実績
実施率	24.1%以上	16.0%

〔計算式〕
特定保健指導の
評価者数

特定保健指導対象者数

事業計画（重点事項抜粋）

- 特定保健指導を受入していない事業所に、受入に関しての同意をいただくため支部幹部職員の訪問による個別勧奨を行う（86事業所に対して訪問勧奨を実施、59事業所が受け入れ可能と回答）
- 特定保健指導実施機関での健診同日実施件数を増やすため、特定保健指導の受入に同意している事業所名を健診機関に提供し、健診当日実施への切替を促す（生活習慣病予防健診実施数が多い4機関に対して提供）
- 協会けんぽの保健指導者による訪問が難しい地域は、委託業者が訪問できる体制を作り、事業主向けに案内を行う（委託業者へ3,353件委託、814件が初回面談実施）
- 保健指導者訪問による保健指導を拒否する事業所向けに、事業所の利便性を確保するためICTで対応可能な体制を構築する（委託業者へ4,281件委託。166件が初回面談実施）

令和3年度の実施状況

➤ 被保険者の特定保健指導の実施状況

全国順位	36位			
令和3年度	対象者数	実施者数	実施率	実施率の差 (岩手-全国)
岩手支部	26,236	4,191	16.0%	▲2.2%
全国	2,031,511	369,942	18.2%	

➤ 参考) 令和2年度の状況 (全国 33位)
【令和2年度までは被保険者と被扶養者を合わせた数値で評価】

元年度	対象者数	実施者数	実施率
岩手支部	27,447	4,153	15.1%
全国	2,049,880	316,666	15.4%

Ⅱ. 戦略的保険者機能関係

(1) 第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の着実な実施

ii) 特定保健指導の実施率の向上（続き）

KPI

被扶養者の特定保健指導の実施率を8.0%以上とする (実施見込者数：96人 / 対象者数：1,194人)

	令和3年度 目標	令和3年度 実績
実施率	8.0%以上	2.7%

〔計算式〕
特定保健指導の
評価者数

特定保健指導対象者数

事業計画

- 協会主催の集合健診時を活用した利用勧奨の更なる実施
- 特定保健指導利用券発送時を活用した利用勧奨の実施
- 支部保健指導者によるICT面談の推進

令和3年度の実施状況

➤ 被扶養者の特定保健指導の実施状況

全国順位	45位			
令和3年度	対象者数	実施者数	実施率	実施率の差 (岩手-全国)
岩手支部	1,049	28	2.7%	▲10.1%
全国	95,352	12,236	12.8%	

➤ 参考) 令和2年度の状況 (全国 33位)

【令和2年度までは被保険者と被扶養者を合わせた数値で評価】

元年度	対象者数	実施者数	実施率
岩手支部	27,447	4,153	15.1%
全国	2,049,880	316,666	15.4%

2. 岩手支部の課題について (1/1)

	課題
1	<p>◎ 特定保健指導実施率が低調なことから、実施率を上げる取組みの強化が必要。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 循環器系疾患にかかる一人当たりの入院外医療費が全国平均を上回っている。・ 血圧リスク保有者の割合が高い。男女ともに年々増加。全支部順位では男性41位、女性42位と下位。・ 喫煙者の割合が男女とも全国平均を上回っているが、特に男性において大きく上回っている。・ 飲酒習慣要改善者の割合が全国で2番目に高く、県内すべての市町村の【地域差指数-1】の値が1を超えている。
2	<p>◎ 喫煙者の割合が高いことから、その割合を下げる新たな施策の実施。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 健診結果及び問診結果から、喫煙者の割合が高い。・ 支部別スコアリングレポートでも、年々漸減しているが、男性で46位の47.1%、女性で32位の15.8%と、特に男性で高くなっている。・ 業態別の喫煙率では、道路貨物運送業において52.9%と全業種で一番高くなっている。・ 岩手支部のデータヘルス計画において脳血管疾患の死亡率減少を目標に掲げているが、喫煙は同疾患の最も危険な因子の一つであり、喫煙率が高いことは大きな問題である。
3	<p>◎ 被扶養者の特定健診実施率が低調なことから、実施率を引き上げる新しい施策の実施。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 令和3年度においては前年度よりも上昇したが、令和元年度、平成30年度よりも低い水準。・ 全支部順位でも40位と下位。・ 令和2年度における国保の実施率が42.5%（全国3位）と高いのに対し、岩手支部の実施率が21.7%（全国31位）と低調。

3. 課題に関連する事業について【令和4年度実施】(1/2)

課題1：特定保健指導実施率向上に向けた取り組み

【事業】特定保健指導利用勧奨にかかる封筒の作成	
新規・継続の区分	新規
事業目的	特定保健指導中断率の減少
事業概要	特定保健指導の初回面談時に使用する「生活習慣のおたずね」の記入忘れを防止するため、特定保健指導の案内送付用封筒に記入を促す文書を印刷した専用封筒の作成。
期待される効果	「生活習慣のおたずね」をきちんと記入いただき、初回面談時に生活習慣改善説明のための十分な時間を確保することで、その後の継続支援を円滑に実施することによる、特定保健指導中断率の減少。
実施時期	4月
実施状況	専用封筒を使用することにより、「生活習慣のおたずね」の記載忘れが減少し、継続支援の円滑な実施に寄与している。
経費の内訳	・印刷製本費

課題2：喫煙者の割合を下げるための取り組み

※今年度の実施はなし。

3. 課題に関連する事業について【令和4年度実施】(2/2)

課題3：被扶養者の特定健診実施率を向上させるための取り組み

【事業】 協会主催の集団健診の実施

新規・継続の区分	継続
事業目的	被扶養者の特定健診の受診率向上
事業概要	特定健診を受診していない被扶養者に対して、商業施設等で実施する「まちかど健診（R4年11月実施予定）」や各地域の公共施設等で実施する「協会主催の集団健診（R5年1月～R5年2月実施予定）」の日程を案内することにより、受診率向上を図る。 「まちかど健診」については、前回より更に開催日数を拡大（2回→3回）して実施する予定。 ＜まちかど健診＞・・・対象者10,459人　　＜協会主催の集団健診＞・・・対象者約35,000人
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> 「まちかど健診」…受診予定数210人（案内対象者数10,459人×受診率2.0%（※受診率は昨年度の率）） 「協会主催の集団健診」…受診予定数776人（案内対象者34,905人×受診率2.0%（※受診率は昨年度の率））
実施時期	11月～2月
実施状況	・まちかど健診…9月30日に案内発送済み　・協会主催の集団健診…12月9日に案内発送予定
経費の内訳	・印刷製本費　・会場借料

【事業】 被扶養者に対する健診結果票取得勧奨

新規・継続の区分	新規
事業目的	受診券を使用しない人間ドックやパート勤務先での健康診断を受けている被扶養者に対し、健康診断結果票の写しを提供していただくことにより、特定健診の受診率向上を図る。
事業概要	特定健診結果が登録されていない被扶養者については、受診券を使用せず、独自に人間ドックやパート勤務先での健康診断を受けている場合が考えられる。 そのため、直近2年間未受診である被扶養者約17,000人に対して委託により、健康診断結果票の写しの提供勧奨のダイレクトメールを送付。提供された健診結果票の写しについては、外部委託機関においてデータ化の上、納品する。
期待される効果	対象となる被扶養者約17,000人×10%（R元年度まちかど健診アンケート参照）＝1,700人が受診券を使用しない健診を受診。 1,700人×20%（事業者健診データの取得率）＝340人分の健診結果票の写しが提供されると予想。
実施時期	※下期において実施
経費の内訳	・印刷製本費　・委託費

4. 課題解決に向けた事業について【令和5年度における実施予定の事業】(1/3)

課題1：特定保健指導実施率向上に向けた取り組み（予定）

【事業】ICTを活用した特定保健指導の推進	
新規・継続の区分	継続
事業目的	特定保健指導実施率の向上
事業概要	勤務時間中に面談を実施できない対象者や、現場作業員など勤務地での面談が困難な対象者の特定保健指導について外部業者に委託し、スマホやパソコンなどのICTを活用した特定保健指導を実施する。また、検診車による健診の際にも、外部委託業者及び健診機関との連携のもと、ICTを活用した面談の場所を設け、健診当日に特定保健指導を実施する。
期待される効果	上記理由により面談を受けることが困難な対象者に対しても特定保健指導を実施することができ、また、健診機関や事業主及び加入者の意識の変化を促すことで実施率の向上につながる。
実施時期	4月～3月
経費の内訳	・委託費

【事業】健診当日の特定保健指導の効果的な利用勧奨（※パイロット事業に応募中）	
新規・継続の区分	新規
事業目的	特定保健指導実施率の向上、医療機関への受診促進及び健康意識の醸成
事業概要	生活習慣病予防健診を受診した被保険者を対象に、医師や保健師などの専門職による、対面の情報提供（3分以上の面談）を実施。また、面談が困難な場合はパンフレットの配布を行う。 【情報提供の内容】 ・特定保健指導利用勧奨 ・健診結果説明 ・生活改善支援 ・対象者からの相談や質問に対する対応
期待される効果	・健診機関における特定保健指導実施に対する意欲の向上 ・特定保健指導の対象者でこれまで未利用の者が同指導の必要性を認識することによる実施率の向上 ・自身の健康状態を確実に把握することによる健康意識の醸成や医療機関への受診者の増加
実施時期	4月～3月
経費の内訳	・委託費 ・印刷製本費

4. 課題解決に向けた事業について【令和5年度における実施予定の事業】(2/3)

課題1：特定保健指導実施率向上に向けた取り組み(予定)

【事業】 いわて健康経営宣言登録事業所の特定保健指導実施率のさらなる向上	
新規・継続の区分	継続
事業目的	コラボヘルスによる特定保健指導実施率の向上
事業概要	健康宣言登録事業所の登録基準が標準化されることに伴い、具体的な数値目標を宣言してもらうことで、目標を再認識のうえ、より効果的な宣言事業とする。(新宣言項目を再登録していただく予定) 岩手支部の健康宣言における数値目標は、健診実施率85%以上、特定保健指導初回実施率30%以上とすることを宣言項目とする。
期待される効果	健康宣言登録事業所における特定保健指導実施率の向上
実施時期	4月以降、順次実施予定
実施状況	令和4年度においては、標準化の周知を実施
経費の内訳	・印刷製本費

4. 課題解決に向けた事業について【令和5年度における実施予定の事業】(3/3)

課題2：喫煙者の割合を下げるための取り組み(予定)

【事業】事業所が主体となった禁煙支援の取り組み(※パイロット事業に応募中)

新規・継続の区分	新規
事業目的	喫煙者率の減少および事業所における喫煙対策の促進
事業概要	喫煙者率が高い業種にターゲットを絞り、その業界団体と連携の上、集団学習により喫煙の危険性の説明を行うとともに、定期的に事業所を訪問し禁煙体制や対策に関する助言や指導を行う。また、外部業者に委託し喫煙者個人に対して定期的な禁煙指導を実施する。
期待される効果	喫煙者個人に対する指導はもとより、禁煙対策の意識醸成が事業所全体に広がることにより事業所としても喫煙者個人に対するバックアップを行うことによる喫煙者の減少。
実施時期	4月～3月
経費の内訳	・委託費 ・印刷製本費

課題3：被扶養者の特定健診実施率を向上させるための取り組み(予定)

【事業】市町村の集団健診の実施時期に合わせた受診勧奨

新規・継続の区分	新規
事業目的	被扶養者の特定健診受診率の向上
事業概要	・協会けんぽ岩手支部と県内の市町村国保における実施率を分析した結果、市町村国保における実施率が高いことが判明。各市町村の集団健診へ誘導することで実施率の向上につながるものと思慮し、その実施時期に合わせ、個別にその市町村在住の被扶養者に対し協会けんぽの特定健診の受診勧奨案内を行う。 (※市町村の集団健診においては、協会けんぽの被扶養者でも受診可能。)
期待される効果	各市町村の集団健診の日程や会場を周知し、そこで協会けんぽの被扶養者も健診を受診することによる受診率の向上。
実施時期	4月～12月頃
経費の内訳	・印刷製本費

巡回健診(検診車)における健診当日初回面談(ICT)の実施 イメージ図

※健診日程を決める際に、
健診機関と事業所担当者様とで打合せを行う。

